

## 県立広島大学教員活動情報

所属学部等	人間文化学部	健康科学科	専攻	人間文化学専攻
職氏名	教授	加藤 秀夫		
専門分野	基礎栄養学	スポーツ栄養学	時間栄養学	食育

### 1. 教育活動 (平成19年度)

(1)担当科目(学部)	基礎栄養学	栄養生化学実験	健康管理論	スポーツ栄養学
	健康栄養学実習	食育指導論	共生社会論	管理栄養士総合演習
(大学院)	栄養科学演習(オムニバス)	基礎・応用栄養学得論	基礎・応用栄養学研究	基礎・応用栄養学研究
(2)教育関係 特記事項				

### 2. 研究活動 (平成17～19年度)

(1)論文等	体力づくりになげ油脂の量と質が大切なのか(6,45-48、広島スポーツ医学研究会誌)	平成17年2月
	スポーツ栄養における砂糖の効果～抗酸化作用について(6,49-52、広島スポーツ医学研究会誌)	平成17年2月
	子どもの運動能力と生活習慣(7,48-51、広島スポーツ医学研究会誌)	平成18年2月
	カルシウム及びマグネシウムの体内利用と食事時刻(8,2-5、広島スポーツ医学研究会誌)	平成19年2月
(2)著書	果糖は健康に良いか悪いのか?(2,33-37、県立広島大学人間文化学部紀要)	平成19年
	カロリー・市川知美(人間の許容限界辞典、854-861、朝倉書店)	平成17年8月
	ビタミン・中村亜紀(人間の許容限界辞典、861-868、朝倉書店)	平成17年18月
(3)学会発表等	これからのスポーツ・運動栄養(スポーツ・運動栄養学・加藤編、1-14、講談社サイエンティフィック)	平成19年5月
	朝食の欠食と便秘は就寝時刻で決まる 森朝美ら 第52回日本栄養改善学会 徳島市	平成17年9月
	肝臓と筋肉グリコーゲン合成における副腎皮質ホルモンの役割 加藤秀夫ら 第59回日本栄養食糧学会 東京都	平成17年5月
(4)工業所有権等	グリコーゲン代謝における肝臓と筋肉の相違点と副腎皮質ホルモンの関与 加藤秀夫ら 第60回日本栄養食糧学会 静岡市	平成18年5月
(5)外部資金採択状況	科学研究費補助金(代表)	件
	科学研究費補助金(分担)	件
(6)研究関係 特記事項	その他外部資金	1件
	平成19年度の共同研究ではエネルギー過剰摂取ラット(雄)と卵巣摘出によるエネルギー消費低下ラット(雌)において、補整下着の着用による肥満とメタボリックシンドロームの改善効果を検討した。その結果、いずれの肥満モデルラットも体重の減少よりも体脂肪量の著しい低下が認められた。特にメタボリックシンドロームに関連する内臓脂肪が有意に減少した。この補整下着の着用による効果が生体に悪影響を及ぼすストレスによるかを詳細に調べた。ストレスによって影響される血糖調節や肝臓と筋肉のグリコーゲンは補整下着の着用によってほとんど変わらなかった。着用条件も週5日の、1日6時間の着用で十分減量効果があることを明らかにした。	

### 3. 地域貢献活動 (平成19年度)

(1)審議会等委員	広島県食育推進委員会	H18.4～H20.3
	三次市教育スーパーアドバイザー	H19.4～H20.3
	三次市食育推進委員会	H19.4～H20.3
	庄原市「地域に根ざした学校給食推進事業」検討委員会・座長	H19.4～H20.3
	広島県地域家庭教育推進協議会	H19.4～H20.3
(2)公開講座等	広島県スポーツ栄養アドバイザー	H19.4～H20.3
	広島県内食育講演会	県内の小・中学校や各市町の公共施設
	中国地域での健康講演会	広島県を中心に岡山県、鳥取県、山口県、島根県
(3)地域貢献 特記事項	高等学校での講演会	呉三津田高校(9就き熊野高校(10月)世羅高校(12月))
	平成19年度に広島県食育推進会議で食育に関する機関・組織代表者の意見や民間コメントなどを集約して「広島県食育推進計画」を会長として作成した。また三次市では教育スーパーアドバイザーと食育推進委員長としてこれまでの3快(快食・快眠・快便活動)運動を発展させながら食農を重視した「三次市食育推進計画」を作成した。庄原市では委員長として「地域に根ざした学校給食推進事業」計画をまとめた。このような地域の要望にこたえるために、広島県「食風土」を考える会を設立し、小誌「広島ヘルシー旬レシピ」を県内企業及び機関の支援により刊行し、無料配布した。5000部のほとんどが「食と健康」の普及に利用されている。安芸高田市が実施した特定健診・保健指導の先行事業に企画運営を指導した。	

### 4. 大学運営活動 (平成19年度)

(1)学内委員等	広島地域連携センター運営委員会	広報連絡委員
(2)大学運営 特記事項	訪問した高校3校には県立広島大学の各キャンパスの学部学科の特徴について、さらに研究・教育・地域貢献を念頭に進めていることを説明した。また、健康科学科では管理栄養士と栄養教諭の養成とその臨地実習及び教育実習では県内の8大学と連携して実習先の確保と情報交換に努めている。	

以上は、主要な活動について掲載しています。